

愛知中小企業家同友会

第16回

# あいち経営 フォーラム



## 同友会らしい黒字企業づくり

激変する経営環境を見据え、人を生かす経営で未来を切り拓こう



日時

2015年11月18日(水)

13:00開会～20:45閉会(受付12:30～)

参加費

8,000円

(基調講演・分科会・交流会)

会場

名古屋国際会議場

名古屋市熱田区熱田西町1番1号 TEL 052-683-7711  
地下鉄 西高蔵駅または日比野駅下車 徒歩5分



### 経営者の責任

#### 第1分科会

##### 経営者の覚悟

甘えをなくし、自立した経営者へ



報告者 **高橋 尚子氏**  
(株)愛豊精機製作所 代表取締役会長  
(会外)  
創業:1981年  
社員数:25名(うちパート3名) 年商:5.4億円  
事業内容:ダイカスト金型設計製造、各種治工具、精密部品加工、航空機部品製造  
<http://www.aihoseiki.co.jp/>

昨年、めまぐるしく変わる経営環境の中、目指すべき方向に自社を導かせる事は容易ではありません。それでも、自らの力で未来を切り開く「企業の自主的近代化」こそが、今求められている企業像かと思えます。しかし、外部環境を言い訳に弱気な姿勢は、経営者の甘えが引き起こしている事ではないでしょうか。本分科会では、自身のおかれた経営環境を言い訳にせず、甘えを捨て自立した経営者になるためにはどうすべきか、女性経営者の視点から、この問題を深めることを目的とします。

#### 第2分科会

##### 家業・一人経営者から企業へ

小規模企業経営者の課題とそこからの脱皮



報告者 **黒田 功氏**  
(株)ケイワークス 代表取締役  
(豊橋北地区)  
創業:1998年 社員数:11名(うち臨時社員3名)  
年商:7.5億円  
事業内容:  
自動車販売・買取、キャンピングカー製造・販売  
<http://www.kworks-aurora.com/>

近年は、商品・サービスにおいて、消費者から求められる質と価値への要求は高まる一方で、小規模企業の強みである独自性のみでは、出来る仕事量や継続性に限界が生じ、相当な独自性と差別化を図る事のできる職種以外は、大企業に淘汰されてしまう時勢であります。景況調査でもデータとしてその旨が記されており、企業化を図ることは喫緊の課題です。本分科会では、小規模企業が維持・発展していく過程における経営者のジレンマに焦点を当て、同友会らしい企業へ発展していく為には何が必要かを考える契機とします。

#### 第3分科会

##### 永続する会社にするために

会社を、どうやって渡しますか、  
どうやって引き継ぎますか



報告者 **辻 直樹氏**  
(株)マイシン 代表取締役  
(豊橋南地区)  
創業:1979年  
社員数:140名(うち臨時社員18名)  
年商:24.5億円  
事業内容:一般貨物運送業「ひまわり便」  
<http://www.maishin.jp/>

中小企業経営者の多くは、夢と希望を抱いて社員と共に幾多の苦難も乗り越え、経営に打ち込まれていると思われれます。健全経営を行い、永続企業を目指そうとするならば継承問題は避けて通れません。では、いつ だれにバトンを渡しますか?自分の息子に?娘婿に?それとも社員に?あなたの会社は後継者に渡せる状態になっていますか?廃業か継承か?やがて来るその時の選択肢の一つ、特に他人承継にスポットを当てた分科会にします。

#### 第4分科会

##### 経営者の右腕づくり

片腕の育て方を学ぶ



報告者 **尾崎 浩一氏**  
(株)オプコ 代表取締役  
(東地区)  
創業:1959年  
社員数:127名 年商:18億円  
事業内容:  
プロ成形(自動車のエンジン周辺樹脂部品)  
<http://www.opuco.co.jp/>

あなたの会社には右腕と呼べる人材はいますか? 会社を発展させるために最も重要となるのが右腕の存在です。たとえば、

会社の理念・方針に沿って、社員が新入社員教育のプログラムを手づくりして、新人を採用したらすぐに社員教育をやってくれる。自社で作業改善に必要な機械を、社員が手づくりして無駄の無い製造現場を創り上げてくれるなど、社長がいちいち指示をしなくても、各セクションで考え指示を出し実践してくれる人がいてくれたら、経営者は本来の経営者の仕事に集中できます。そのためには、経営者自身が成長し説得力のある魅力ある中身を身につけないと人は付いてきません。右腕が育つか育たないかは経営者の責任です。片腕の育て方を学びたい経営者は、是非ご参加ください。

### 経営理念を実践する過程

#### 第5分科会

##### 社員と共に未来をつむぐ、 ビジョン経営のすすめ

「社員・顧客・地域の幸せを実現する企業」をめざして



報告者 **永井 茂一氏**  
(株)ピアライフ 代表取締役  
(滋賀同友会)  
創業:1990年  
社員数:30名(うち臨時社員5名)  
年商:5億円  
事業内容:宅地建物取引業・一般建設業  
<http://www.pialife.co.jp/>

空前の人手不足で、人材流出の危機に直面する企業も多い現在、重要なのは経営理念を掲げ、社員が会社と事業に夢を感じられるビジョン・明確な企業の将来像を描き、それに向かってまい進する経営ではないでしょうか。報告者の永井氏は、「顧客・社員・地域の幸せ実現」をめざし、不動産業から「地域に密着した総合生活サービス業」へ脱皮、地域への役立ちが働く喜びとなる企業づくりを社員と共に実践してきました。ビジョン経営の重要性と、いかに実践していくか、学びましょう。

#### 第6分科会

##### 経営指針作成から同友会らしい 黒字経営への道のり

経営指針実践の原動力を「労使見解」から学ぶ



報告者 **山田 健雄氏**  
(株)名栄社 代表取締役  
(西地区)  
創業:1959年 社員数:50名(うち臨時社員8名)  
年商:5.7億円  
事業内容:写真製版、オフセット、スクリーン印刷、アルマトエッチング、超高压成形、インクジェット印刷  
<http://www.meieisha.co.jp/>

変化する経営環境の中、ぶれない座標軸を持って経営するためには経営指針が必要です。しかし、経営指針を学び、作成してもなかなか社員と共有ができず思うように実践できない現実があります。業態を大きく変え新事業に挑戦する報告者の実践と悩みを事例に、経営指針を社員と共に実践できる経営者のあり方や経営姿勢はどうあるべきかを考えます。「労使見解」の経営者の責任の視点から学び合ひましょう。

### 人を生かす経営の実践

#### 第7分科会

##### “人を生かす”その原点を探る旅

障害者と共に生き、働くことの意義



報告者 **杉浦 昭男氏**  
真和建装(株) 取締役会長  
(岡崎地区)  
創業:1967年  
社員数:39名 年商:11億円  
事業内容:塗装、看板、インテリア、防水工事  
自社開発商品(仕上げ建材製造販売)  
<http://www.shinwakensou.com/>

同友会らしい企業づくりは「人を生かす経営」の実践が前提です。経営者は、社員と共に育つ覚悟を持ち、互いに支え合い、仕事を通して夢や希望を実現していきます。人を生かす経営を目指す我々にとって、自分ひとりの力では生き残るには限度のある人を支えることは責務です。先輩経営者の志や歴史に学び、なぜ経営者団体である同友会に障害者問題委員会があるのか、その原点を探り、「障害者と共に生き、働くこと」の意義を学びます。

#### 第8分科会

##### 中小企業経営と 男性の働き方改革

少子高齢化を乗り切るために



報告者 **佐藤 祐一氏**  
(株)羽根田商会 代表取締役(中区南地区)  
創業:1951年 社員数:103名(うち臨時社員21名)  
年商:75.6億円(2014年1期実績)  
事業内容:外国産及国産品の機械・工具の輸入及販売、外国産及国産特殊鋼の輸入及販売、機械の部品加工及製作、以上各号に附帯する一切の業務  
<http://www.haneda-shokai.co.jp/>

少子高齢化の影響は中小企業経営に深刻な影響をもたらします。10年後には団塊世代が75歳に到達し、介護者が急増することが予測されています。今後は男性も家族介護や育児参加により時間の制約が必要となる時代がやってきます。経営者も社員もこれまでと同じ働き方が出来なくなる現実を受け入れなければなりません。第8分科会では、流通・製造業の経営者から、男性の働き方改革を進めるにあたり、どのようなことが課題となるのか、また重要なことは何かを討論頂き、何をなすべきなのかを学びます。



報告者 **高橋 弘茂氏**  
(株)TEKNIA 代表取締役(中川地区)  
創業:1912年 社員数:150名(グループ含むうち臨時社員5名)  
年商:12億円 事業内容:航空機自動車工作機産業機械、精密金属部品の製造、中古機械買取販売、テクニアカレッジ教育事業、技術者派遣事業、会計コンサルティング、その他  
<http://teknia-group.com/> <http://monoepi.com/>



コーディネーター **倉田 満美子氏**  
(株)ラッシュ・インターナショナル 代表取締役(中区北地区)  
創業:1995年 社員数:76名(うち臨時社員65名)  
年商:1億円 事業内容:売上・集客UPのためのお手伝い、販促・営業支援コンサルティング  
<http://www.rush-i.com/>

#### 第9分科会

##### 高齢者が輝き魅力ある企業へ

新入社員が70歳まで働くことを  
目標に出来る企業作り



報告者 **寺西 正明氏**  
渡辺精密工業(株)  
代表取締役(熱田地区)  
創業:1947年  
社員数:49名 年商:4億円  
事業内容:ゲージ・検査具・治工具・金型部品の設計製作  
<http://www.wsl-g.co.jp/>

定年というこれまでの、長く貢献した社員に「ご苦労様」と言って送り出す時でした。高齢化が進む中、「まだ働きたい」と願う社員は多く、会社にとっても長く活躍していただくこと

は必要です。ところが、会社側は慌てて再雇用の準備をし、その場しのぎの対応から納得感を持たずに働く現状もあるようです。私たち経営者は、社員と共感できる就業規則や環境を整備していく必要があります。環境を整えば、ベテランの“個人技量”から若手への計画的育成が可能になり、スムーズな技能伝承にもなります。また、生涯イキイキと働く姿に若者が自身の将来を重ね、安心して働くことができます。第9分科会では、ベテラン→中堅→若手へと働き方を繋げている寺西社長の報告から、社員が70歳まで働くことを目標に出来る企業づくりについて考えます。

#### 第10分科会

##### 「人が育つ」採用と共育

魅力ある会社づくり



報告者 **大野 正博氏**  
(有)中部製作所 代表取締役  
(南地区)  
創業:1947年  
社員数:29名 年商:7.7億円  
事業内容:ボルト・ナット・締結部品製造販売  
<http://www.tyubu.co.jp/>

同友会が推進する三位一体経営、その内の2大柱である「採用」と「共育」を中心に学びます。会社発展の原動力は、経営指針やビジョンを共有できた社員であり、その社員の成長でもあります。「経営指針」の社内への浸透を「採用」と「共育」という観点から学び、同時に「指針」「採用」「共育」は独立したものでなく、お互いに関連しあうものだという点を改めて確認し、「魅力ある企業づくり」を学びます。

#### 第11分科会

##### 社長の生き方が 信頼関係をつくる

社員は想いをひとつにするパートナー



報告者 **橋 恭浩氏**  
(株)ネオライフプランニング  
代表取締役(中村地区)  
創業:2000年  
社員数:40名(うち臨時社員5名) 年商:5億円  
事業内容:生命保険、損害保険代理店、及び住宅ローン  
<http://www.neolife.co.jp/>

自身も含め皆が生きて働く会社とは、どのようなものでしょうか。それは経営者自身の勝手な思いで経営するのではなく、会社の目指すべき目的(理念)を、社員といっしょに追求していくことです。社員との間には、考えや意思などの相違があつて当たり前ですが、お互いの違いを認め合い、パートナーとして信頼関係がなければいけません。この分科会では経営者の姿勢が全ての原点と考え、社員との信頼関係構築には何が大切かを考え、学び、実践することへ繋げていくことを目指します。